

## 令和8年度花巻市石鳥谷地域協議会第1回会議 会議録

【日 時】 令和8年5月19日（火）午後2時～午後3時25分

【場 所】 花巻市石鳥谷総合支所 3階 大会議室

【出席者】

出席委員：10名

藤原けい子委員、高橋朋和委員、川村政利委員、熊谷俊彦委員、柏原一弘委員、  
高橋元一委員、小原裕子委員、佐々木一也委員、菅原康之委員、中村萬敬委員

欠席委員：3名

佐藤日登美委員、菅原紳委員、佐藤淑憲委員

市側出席者：12名

説明者

佐藤勝教育長、瀬川幾子教育部長、瀬川猛教育企画課長、菊池豊教育企画課長  
補佐、瀬川勝司教育企画課総務企画係行政事務員

事務局（石鳥谷総合支所）

畠山夕子総合支所長、高橋誠地域振興課長、清水賢子市民サービス課長、  
砂川秀輝地域支援監、高橋美穂地域振興課長補佐、新田地域づくり係上席主  
査、大沼季生地域づくり係主査

【審議事項】

① 石鳥谷地域の学校統合検討経過と今後の進め方について

資料により説明、各委員が質問、意見を述べた。

② その他

菅原康之会長より花巻市総合計画審議会委員の推薦について

畠山石鳥谷総合支所長より石鳥谷地域における令和8年度の主な事業について

【傍 聴】 会議を傍聴した者 0人

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

## 1 開会

(高橋石鳥谷地域振興課長)

令和8年度花巻市石鳥谷地域協議会第1回会議を開会いたします。

初めに、本日の会議について委員13名中10名の出席で過半数の出席がありますので、花巻市地域自治区設置条例第9条第2項の規定により、会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは畠山石鳥谷総合支所長から御挨拶を申し上げます。

## 2 挨拶

(畠山石鳥谷総合支所長)

本日は、令和8年度花巻市石鳥谷地域協議会第1回会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

皆様方には市政運営、各施策の推進に当たり、格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りいたしまして、心から御礼申し上げます。

また、先ほど皆様に辞令書を交付いたしました。令和8年5月1日から令和10年4月30日までの2年間の任期となります。新たに石鳥谷地域協議会委員になられた皆様、また、前回から引き続き委員の皆様、この度は御承認くださりまして誠にありがとうございます。これからの2年間どうぞよろしくお願いいたします。

地域協議会は、花巻市地域自治区設置条例において、大迫地域、石鳥谷地域、東和地域ごとに地域自治区を設置し、地域協議会を設けております。この地域協議会の権限として、条例第8条に「市長その他の市の機関により諮問されたもの又は必要と認めるものについて、審議し、市長その他の市の機関に意見を述べるができる」と規定しております。

本日はこの後、次第の3「会長および副会長選任について」、そして次第の4の説明においては、「石鳥谷地域の学校統合検討経過と今後の進め方について」の現在の進捗状況の報告そして御意見を伺うこととしております。

暑い中、長時間になりますが、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(高橋石鳥谷地域振興課長)

本日は、委員改選後初めての会議でありますので、委員の皆様を御紹介いたします。

### 【高橋石鳥谷地域振興課長が委員を紹介】

(高橋石鳥谷地域振興課長)

それでは本協議会について説明します。

市では重要な計画の策定に当たって、本協議会の意見を聞かなければならないとされていることから、該当する計画がある都度、地域協議会の会議を会長が招集いたします。計画案を担当部署から説明し、委員の皆様からの質問や意見を伺います。その意見を付して書面より答申する形態と、書面によらずに意見聴取する形態がありますが、どちらの形態を用いるかは、個々の計画等の策定において、その性質や時期等によって市が判断しているものでございます。会議を開催する際には、委員の皆様へ2週間前までに御案内いたします。

続いて、本日出席している事務局の職員を紹介いたします。

**【高橋石鳥谷地域振興課長から事務局の職員を紹介】**

3 会長及び副会長の選出について

(高橋石鳥谷地域振興課長)

次第の3「会長および副会長の選出について」に移ります。

会長が決まるまでの間、畠山石鳥谷総合支所長が議長を務めさせていただきます。

**【畠山石鳥谷総合支所長が議長席へ移動】**

(畠山石鳥谷総合支所長)

それでは会長が選出されるまでの間、仮議長として進行いたします。

花巻市地域自治区設置条例第7条第1項の規定により、「会長および副会長各1名を置き、委員の互選により定める」となっております。これから選出について御協議をお願いいたします。

初めに、会長の選出についてお諮りいたします。どなたか御意見ございませんでしょうか。

(柏原一弘委員)

会長には、学識経験者である菅原康之委員を推薦申し上げます。

(畠山石鳥谷総合支所長)

ただいま菅原康之委員を推薦する発言がございました。他にはございませんでしょうか。

**【発言なし】**

それでは、他の委員から御意見がありませんでしたのでお諮りいたします。

会長に菅原康之委員を選出したいと思っております。これに御異議はございませんか。

**【「異議なし」の声あり】**

(畠山石鳥谷総合支所長)

異議なしを認めます。よって、会長は菅原康之委員に決定いたしました。

会長が決定いたしましたので、これをもちまして、以後の進行は菅原康之会長をお願いいたします。

**【畠山石鳥谷総合支所長が事務局席へ移動】**

(高橋石鳥谷地域振興課長)

事務局より発言いたします。

花巻市地域自治区設置条例第9条第3項に「会長は、会議の議長となる」と規定されておりますので、ここからの議長は菅原康之会長をお願いいたします。

それでは菅原会長、御挨拶をお願いいたします。

**【菅原康之会長が議長席へ移動】**

(菅原康之会長)

ただいま、地域協議会の会長に選任されました菅原でございます。よろしくお願いいたします。

御案内のとおり、国の主導で平成の大合併が行われましたけれども、旧1市3町が新花巻になりまして早20年が経過してございます。そうした中で、行政サービスの効率化を図るために、この20年間それぞれの役割を担っていただいているところでございますけれども、この合併によっての効果、財政的にも非常に基盤強化されたところでございます。一方では、人口減少が非常にスピード化している現状でございます。合併当時の平成18年の1月の人口は10万7000人でしたが、20年後の現在は、8万8000人と9万人を割っている状況でございます。1年に1000人ずつ人口が減っている状況になっております。特に、年少人口や生産年齢人口は、今後とも長期的に減少傾向が続く見通しでございます。

そうした中で、現在、人口減少対策をはじめとする、第2次花巻市まちづくり総合計画の長期ビジョンに基づきまして、計画期間が令和6年から9年までの4年間、前期アクションプランの取り組みが推進されております。今年度はその3年目を迎えているところでございます。当地域協議会といたしましても、委員各位の御協力をいただき、総合支所職員と連携を図りながら、石鳥谷地域の諸課題について議論し、将来にわたって活力ある安全で住みよいまちづくりを推進してまいりたいと思っておりますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

(菅原康之会長)

議事を進行いたします。

それでは次に、副会長選出をお諮りしたいと思いますが、どなたか御意見ございませんでしょうか。

(柏原一弘委員)

副会長につきましては、八幡まちづくり協議会の高橋元一委員を推薦申し上げます。

(菅原康之会長)

高橋元一委員を推薦する御発言がございました。他にございませんでしょうか。

**【「なし」の声あり】**

(菅原康之会長)

ないようでございますのでお諮りをいたします。

副会長には高橋元一委員を選出したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

**【「異議なし」の声あり】**

(菅原康之会長)

異議なしを認めます。

よって副会長は高橋元一委員に決定いたしました。

ここで副会長になられました高橋元一委員から御挨拶をお願いしたいと思います。

(高橋元一副会長)

高橋元一でございます。副会長ということで荷が重いのですが、会長さんを助けながら、あるいは参会の皆様のお意見をうまくまとめられるように、良いまちになるように話を進めていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 4 説明

(菅原康之会長)

次第の4の説明に入らせていただきます。

本日の案件は、「石鳥谷地域の学校統合検討経過と今後の進め方について」でございます。担当の花巻市教育委員会の職員を入室させます。しばらくお待ちください。

**【花巻市教育委員会の職員が入室】**

(菅原康之会長)

それでは、事務局から説明者の紹介をお願いします。

(高橋石鳥谷地域振興課長)

説明者として出席している教育委員会の職員を御紹介いたします。

**【高橋石鳥谷地域振興課長が説明者の花巻市教育委員会の職員を紹介】**

(菅原康之会長)

審議の前にこの案件に関して、事務局から説明をお願いします。

(高橋石鳥谷地域振興課長)

この案件は花巻市教育委員会から、本協議会の委員に説明したい旨の申し出があったものでありますので、本協議会委員に説明及び報告を行うものであります。

(菅原康之会長)

ただいま事務局から説明がありましたとおり、本件は当協議会に説明及び報告を行うものでありますので、よろしくお願いいたします。

それでは、「石鳥谷地域の学校統合検討経過と今後の進め方について」を説明者から説明をお願いします。

(佐藤花巻市教育長)

詳細な説明に入ります前に、御挨拶申し上げたいと思います。

本日、第1回の石鳥谷地域協議会で、この貴重なお時間をいただきありがとうございます。

先般、この4月に町内6つのコミュニティ会議に御説明でそれぞれお話をする機会をいただきました。それから様々これまで市政懇談会でも学校統合について御質問等いただき、大変ありがとうございます。本日は、この後詳細な説明を申し上げますけれども、石鳥谷地域の学校統合に向けた検討経過と今後の進め方について御報告申し上げたいと思います。

この石鳥谷地域での検討、懇談につきましては、令和4年度から始まっているわけですが、このことについては、昨年2月25日の協議会会議で、御説明申し上げたところでございます。その後、町内4つの小学校と中学校の5校のPTA役員の方々と構成する検討会議において、「統合に至った後はどういった形態にするか」ということで、1年間にわたり、視察等も含めまして、7回ほど御検討いただいて、最終案には至りませんでしたけれども、その結果を集約していただきました。

その後、地域の方々への御説明については、先ほど申し上げましたとおり、4月に6つのコミュニティで御説明し、それから、4月30日には石鳥谷地域の方々を対象とした住民説明会を生涯学習会館で開催させていただきました。いずれの場においても統合については異論なく、御支持いただいたものと判断いたしますし、今後の進め方についても一定の御理解を得たと捉えております。

本日は、改めて昨年度の保護者代表の方々による石鳥谷地域学校検討会での検討状況、そして今後、最終的な学校形態について検討をいただく、仮称「石鳥谷地域の学校統合委員会」を設置して進めていくということで、案の段階ではございますが、御説明申し上げたいと思います。

申し上げるまでもなく、やはり学校統合ということにつきましては、将来にわたるこの地域における学校教育の環境整備、あるいは人づくり、まちづくりという非常に大きな観点からも極めて重要なことでもあります。どうか、この機会に、忌憚のない御意見をたくさん賜ればありがたいと存じます。よろしく願いいたします。

【資料1に基づき説明 説明者：瀬川教育企画課長】

※資料2を追加で配布

(菅原康之会長)

それでは、予め配布された資料(資料1)に基づいて説明いただいたわけですが、皆さんから質問御意見等あれば承りたいと思います。挙手でお願いいたします。どなたかございませんか。

(中村萬敬委員)

石鳥谷地域の学校統合については私もいろいろ考えているところですが、結論から言えば私も統合には賛成でございます。

しかし、いわゆる少人数学級にも、良さがあるような感じがいたします。今、学年の子供の数が少なければ、1学年と2学年を一緒にしたり、3学年と4学年を一緒にするという複式学級という形になっているようですが、子供の数が少ないと、先生が目が行き届くような気もいたします。そういった意見がなかったかどうかお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

(佐藤花巻市教育長)

御質問ありがとうございます。

確かに御説明の中では、いわゆる小規模校の良さと、規模の一定数確保した適正な規模の学校との比較ということで御説明申し上げました。今、お話いただいたように、小規模校であれば、やはり「1人1人の顔がよく見える。」あるいは「全体で1人1人の成長を見守れる。」というような、非常にコンパクトな親密な関係が生まれてまいります。学習面については、個別の指導ができるという良さもあります。一方、デメリットとすると、まず学校行事の運営が非常に難しいということ。それから、今、お話がありましたように、職員数がどうしても少なくなります。そういった中で、教

員の負担というのは当然大きくなってまいりますし、学習の中で、大規模な人数での活動を要するような、例えば体育でいうと、サッカーは全くできません。バスケットもできません。あるいは合唱であるとか、あるいは多様な価値観に触れる機会が少なくなるといったようなことがデメリットのひとつです。

それから、今お示しした中で、いわゆる完全複式になるわけですが、今度はこの状態を継続しますと、複式の中でも飛び複式ということが想定されます。飛び複式というのは、学年を挟んで、例えば3年生がいないで、2年生と4年生、4年生と6年生、そういった場合であると、全く同じ空間でも学習は別内容になりますし、授業をするにしても、例えば体力では非常に差が生じてしまうということで、複式の良さということについても、かなり大きな課題も出てまいります。そういった説明を加えた上で、苦渋の御判断だとは思いますが、「統合する」ということでおおむね賛同をいただいたことで捉えております。

(菅原康之会長)

中村委員、よろしいでしょうか。

(中村萬敬委員)

はい。

(菅原康之会長)

他にございませんか。

(川村政利委員)

統合には特に反対するものではありませんが、4月30日の石鳥谷生涯学習会館で何か説明会の中で小学校6年生、中学校3年生という区切りを残して欲しいという意見が載っているのですが、義務教育学校と小中一貫校と、実際何ヵ所かあるようですが、そこの児童とか、あるいはその父兄の方がどのように感じているのか、そのような声を聞いたことはあるのでしょうか。

(佐藤花巻市教育長)

今までの6・3制が非常に伝統的で、日本に定着した形であります。県内でも義務教育学校、いわゆる小中一貫教育にも、いくつかのパターンがあるわけですが、例えば連携型とって、校舎は別だけれども大きな意味で教育課程であるとか、先生方の交流をもって9年間を繋ぐような教育をするというもの。それから、一つの敷地内に、両方の施設を持って隙間なくやっていく。それから義務教育学校は御存知のとおり、最初から小学校と中学校を一体化した9年制の学校ということでございます。これについては統合の検討組織の中では、視察をして、確認いたしました。正直、PTAの方々にはなかなか馴染みがないというのが正直なところだと思います。

ただ、全国的な小中一貫教育を導入している事例を見ると、やっぱり一番大きいのは、9年間育ちをとにかく全体でずっと見ることができるということ。よく不登校の出現というのが、小学校から中学校に進学するときのギャップが非常に大きいからということについては、ほぼ解消できる方向にあって、非常に不登校の子供たちの出現率は低い状況です。

それから、小中一貫教育を導入いたしますと、これまでの6・3制の学校と違って、いわゆる教育課程、教育内容について様々な入れ替えとか、決まった枠の中での選択教科の設定ができます。その地域に関しての学習であるとか、あるいは国際的な視点

から英語教育を低学年から行うとか、あるいは数学について1学年で基礎基本を定着させるために集中的な取り組みをするというような柔軟な取り組みができる。その点についてはこれからの検討会議の中でも、当然議論いただくところだと思いますし、そういったことについては、その都度その都度、一般の方々にもお知らせしていくという手法をとっていきたいと考えております。

(菅原康之会長)

川村委員、よろしいでしょうか。

(川村政利委員)

はい。

(菅原康之会長)

他にございませんか。

(高橋元一委員)

スケジュールの関係でどうなるのかという心配が多いようですけれども、私の意見としては「できるだけ早く」という形で考えてほしいと思います。結局、国の補助をもらうとか、いろいろなことが出てくるとは思いますけれども、中身がまとまったけれども、建物ができないとか、そういうことがないように、どっちが先ということではないとは思いますが、併せてきちんとスケジュールを示しながら、ここまではこういうことを決めていきたいというのを、お示しはしていただいているとは思いますが、もう少し強くはっきり言っていただければなということを感じております。

(瀬川教育企画課長)

お配りした次の資料(資料2)で、開校までのスケジュールを(案)という形で説明をさせていただきたいと思います。

(菅原康之会長)

事前配布の資料(資料1)について説明いただいた中での質疑を続けたいと思いますが、どなたかございませんか。

(高橋元一委員)

ちょっと話がズレるかもしれませんが、学校が統合することで資料がまとまってきたようですが、結局地域に何か影響があるのかという辺りが見えてこない。ですから、学校と教育委員会としては「統合する」でいいのかもしれませんが、それによって、地域にどのような影響があるのかということも併せて示していただいて、意見をまとめていくということが大切かなという気がします。当然、統合について反対するものではないですが、影響は何かということをお示しいただければ助かります。

(佐藤花巻市教育長)

この点については、この前の住民の方々への説明会の中で御指摘いただきました。

それぞれの小学校、いわゆる地域とともにある学校ということで、150周年を迎えたりするような、非常に伝統的な歴史のある学校であります。今は地域連携ということが非常に重要視されていて、特に学校で取り組んでいる、例えば総合の学習であるとか、様々な体験的な学習、それから石鳥谷にはたくさんの伝統芸能があり、例えば

新堀では千刈田神楽や膳舞を学校で取り組んでいるとか、八重畑では神楽を全員で演じるとか、様々なことを行っているわけです。そういったものの地域との関わりが薄くなるのではというようなことです。

それから、子供たちの地域行事への参加が非常に難しくなるのではないかということで、この点については、これから御説明申し上げますけれども、統合について学校形態が決まりましたら、その次に、準備委員会で全般的な基本構想を固めた後に、今度は具体的なことを検討する統合設立委員会というのを準備させていただき、その中で、学校名をどうしようかなど、学校経営に関わる部分や、地域との連携をどう進めていけばいいだろうかとということで、コミュニティから御推薦いただいた方々と、学校の教育内容と地域との連携をどうしていくか、学校教育のあり方をどうしていくか、そういった具体的なところについては、これからもしっかり検討させていただきます。その点についても、その都度、その都度、内容についてお教えいたしますし、御意見をいただきたいと思っております。

(菅原康之会長)

高橋委員、よろしいでしょうか。

(高橋元一委員)

はい。

(菅原康之会長)

他にございませんか。

(佐々木一也委員)

地域説明会につきまして、新堀の方は4月19日に地区のコミュニティの総会で行っていただきました。それで、私自身は息子がこの委員に入っているものですから、始まった時から聞いていました。ですから私は、今お示しいただいたものは、結構何回も聞いています。

しかし、地域の方々は、そうでもないと思います。この間はこの資料どおり説明していただいたのですが、それで終わりではないでしょう。先ほど八重畑地区は意見交換ができたということだったのですが、新堀地区の場合は全地区にとは言いませんが、意見交換等々の部分までは行ってないと思います。その学校統合検討委員会の立ち上げの前になると思うのですが、地区の説明会のスケジュールは、どのように考えているかというのを一つお聞きしたい。

(瀬川教育部長)

ただいまの御質問にお答えいたします。

まず、4月に各コミュニティの総会等に合わせて、説明をする機会を作っていただきました。そのときは、こちらからお時間をいただくという形で質疑の時間は取れないだろうという中で、八重畑さんだけはコミュニティの総会で時間を取れなかったので、別な日を設定していただいたという経緯がありました。

そういった形の説明会でしたので、全体での質疑ですとか御意見をいただくという機会は、まず4月30日の全体の説明会にはなりましたが、そちらでお願いしたいというのがありました。あとは、地域の方にまた説明してほしいとか、そういった意見交換の機会をという御希望があれば日程を調整させていただいて、機会をつくるということもできます。あと、今年度も予定されております市政懇談会が地区ごとにあ

りますけれども、そちらの方でも、私どもから必ずお話しする場面を作りたいと思います。その中で、地域の方々から御意見をいただければと考えてございますので、よろしくお願いたします。

(菅原康之会長)

他にございませんか。

(熊谷俊彦委員)

一点確認したいのですが、資料(資料1)の3の中で学校形態についていろいろ例示しておりますけれども、来年度以降、具体的に学校形態をどうするか検討するというのはわかりましたが、その中で石鳥谷地域では6・3制にするとか、義務教育学校にするとか、矢沢地区では義務教育学校とお聞きしているのですが、要は花巻市教育委員会として、この地区はこの学校形態だ、この地区はこの学校形態だということで、花巻市の教育委員会としてこうするというのではなくて、地域の中で議論し、選択権が地域にあるということで理解していいのか。先ほどの佐々木委員とも関係しますが、教育委員会として花巻市とすれば経営方針みたいなものはこうだからこうしたいのでご理解いただきたいということではないのか。たぶん、地域で決めるということに進んでいくとは思いますが、そういう理解でいいのか確認したいです。

(瀬川教育部長)

学校形態につきまして、まず、矢沢については義務教育学校で令和10年の開校に向けて今準備を進めているところです。それが決まった経緯といたしまして、地域の方での議論のスタートは、学校の老朽化ということもあったのですが、小学校中学校を一緒にして、地域として義務教育学校でやっていきたいというような御意向もありまして、その形で進んでおります。

教育委員会といたしましては、今回の石鳥谷についてもそうですが、まずは保護者の皆さんとお話して、その後に地域の方々との協議をしてというようなプロセスを踏まえながら、それぞれの地区に入って、その地域のふさわしい学校形態というのを協議して、その御意見を尊重しながら最終的には教育委員会で決めることにはなりますが、地域の御意見を尊重しながら決めていきたいという方針を持っております。今回の石鳥谷につきましても、既にPTAの方々との協議というのはまず第1弾、昨年度進めてきたところです。次は、地域に入ってということで、最初からこういう形というような示し方ではなくて、地域の皆さんと話し合いながら、決めていきたいという方針を持っているところでございます。よろしくお願いいたします。

(熊谷俊彦委員)

これから地域の中で議論をして、その結果を踏まえて最終的には教育委員会で判断するということですね。わかりました。

(菅原康之会長)

他にございませんか。

(菅原康之会長)

いろいろ質疑が続いておりますけれども、御案内のとおり、矢沢地区は令和10年の開校に向けて、矢沢地区義務教育学校基本構想に基づきまして、学校設立委員会を立ち上げて進められております。教育長のお話ですと、非常に義務教育学校というの

は、私立もそうなのですけども、メリットが大きいというお話をいただいたわけですが、石鳥谷地域も義務教育学校でいくべきなのか、あるいは小中一貫校の形態をとるのか。何種類かあるわけですが、今の石鳥谷中学校の隣接地に小学校の施設を整備する、あるいは中に整備するなど、いろいろあるかと思えますけども、それをこれから意見交換をして、決めていくということであれば、時間的にまた延びるような気がするのですが、教育委員会としての理想は、こうあってほしいというのはお持ちですか。

(瀬川教育部長)

ただいまお話ありましたスケジュールに関してはこれから説明します。

検討していきたい内容といたしましては、まず学校形態についてです。その中で、今までの検討の過程でもそうだったのですが、どうしても場所とセットで考えていくという形になるだろうというような思いでございます。ただいまからその説明をしたいと思えますけれども、さらに、学校整備まで想定した場合にどれくらいの期間がかかるのかというような御説明も申し上げさせていただければと思います。

(菅原康之会長)

ほかに御意見御質問がなければ、先ほどお配りいただいた資料（資料2）に基づいて、今後のスケジュール等について御説明をいただきたいと思えます。

【資料2に基づき説明 説明者：瀬川教育企画課長】

(菅原康之会長)

石鳥谷地域の学校の複式学級が間近に控えているという状況ですので、できるだけ複式を解消するという方向で進めていただければと思います。

ただいまの説明について、何か御質問、御意見があれば承りたいと思えます。どうかございませんか。

(佐々木一也委員)

スケジュールの部分ではございませんけども、いずれ統合が決定ということになりますと、小学校の方が、今、新堀小学校で64人いますけども、いずれこの児童が新しい学校に入ります。校舎は残ります。それで、どこの地域もそうなのですが、この校舎等々の使い方なりを教育委員会、市の方ではどのようにお考えなのかお示し願いたいと思えます。

(瀬川教育部長)

まずは現在まだ学校の場所が決まっていない状況ですので、場合によってはどこかの学校を使うという選択肢もないわけではないので、どこの学校がなくなるというのもまだ決まっていない状況ですが、いずれ大半の学校は、閉校してしまう状況は出てきます。その時にやはり跡地活用ということが問題になるかと思えますけれども、今すぐどこの地域はどういった活用というのが、はっきり決まっているわけではございません。ことさら4校の統合ということですので、学校として活用しなくなる施設についての対応というのは規模も大きなものになると思えます。

今回、矢沢については、そういった統合に関する起債を使いまして、小学校を解体するという予定になってございます。後のことも考えながら、地域の皆様ともお話し、どうするのかというのは、考えていくということになると思えます。まだ、具体

的なものが決まっているわけではございませんけれども、後世に大きな負担が残ってもというような視点も必要であると感じているところであります。そこは市の公共施設マネジメントの計画とも合わせながら地域の皆様とも一緒に御協議していく必要があると認識してございます。

(菅原康之会長)

他にございませんか。

ないようですので、開校までのスケジュール案について先ほどの説明への質疑は打ち切りたいと思いますが、よろしいですか。

【「はい」の声あり】

(菅原康之会長)

全体的な説明の中で、質問したい事項は何かありませんか。なければ先ほど御説明いただいた、石鳥谷の地域学校統合に向けての新たな組織の設置等についても、質疑は打ち切りたいと思いますが、よろしいですね。

【「はい」の声あり】

(菅原康之会長)

それでは、以上で教育委員会の説明を終わらせていただきます。

【花巻市教育委員会の職員が退室】

(菅原康之会長)

つづいて、次第の4(2)その他に入らせていただきます。

最初に私の方から皆様方にお諮りしたい事項がございます。

先般、市長より花巻市総合計画審議会委員への推薦依頼がございました。委員の任期は2年でございます。石鳥谷地域協議会を代表する者ということで、推薦でございますが、いかがいたしましょうか。

(高橋元一委員)

会を代表する1人ですか。

(菅原康之会長)

1人です。

(高橋元一委員)

では会長にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

(菅原康之会長)

ただいま会長にという推薦がございましたけれども、他にございませんか。

【「なし」の声あり】

(菅原康之会長)

ないようですので、私を花巻市総合計画審議会委員に推薦させていただきたいと思  
います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(菅原康之会長)

その他にございませんか。

(畠山石鳥谷総合支所長)

長時間にわたって申し訳ないところではございますが、今年度最初の会議でありま  
すので、令和8年度の石鳥谷地域に関わる主な事業についてお話をさせていただければ  
と思います。

1点目ですけれども、有害鳥獣被害対策についてです。5月1日の広報花巻にも特集  
が組まれておりますが、昨年度の花巻市におけるクマの目撃件数は886件で、そのう  
ち石鳥谷地域での目撃件数は222件と前の年の4倍以上となりました。今年も5月の  
連休あたりから、熊の目撃情報が寄せられているところでございます。

そこで、石鳥谷地域では、今年度から有害鳥獣対策支援員を配置し、広報活動やパ  
トロールを強化しております。また、放置された果樹や、手入れされていない柿の木  
などもクマを引き寄せる原因となることから、伐採費用についても補助を行っており  
ます。加えて、クマ撃退用スプレーや、電気柵の購入費についても補助制度がござい  
ますので、活用を検討されている方は、市へ御相談いただければと思います。

2点目は南部杜氏の里まつりについてです。昨年度までは、ビバハウスで日本酒を  
楽しむイベントとして夕方から開催しておりましたが、今年度は新たな試みとして、  
道の駅「石鳥谷」において、6月6日土曜日11時から16時までの間に開催いたしま  
す。

道の駅「石鳥谷」は、令和5年度に「南部杜氏の里」としてリニューアルオープン  
し、南部杜氏伝承館も改修されております。今回は、南部杜氏伝承館において、南部  
杜氏の歴史、酒造りの紹介の他、酒蔵PRコーナーにおいて、県内6社の酒造会社の有  
料試飲や、芝生広場においてステージイベント、飲食店の出店、日本酒が当たる抽選  
会などを行います。ぜひ多くの皆様の御来場をお待ちしております。

3点目は戸塚森森林公園の整備についてです。昨年度は遊具の更新を行いました  
が、今年度は木製階段、四阿、ベンチ等の更新を予定しております。公園の安全、快  
適な環境維持に努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

4点目は、石鳥谷総合支所の空調設備の改修更新を行います。石鳥谷総合支所は平  
成6年5月の建築で30年以上経過しておりますことから、順次設備の更新を行ってま  
いります。

5点目は、ビバハウス石鳥谷や、石鳥谷斎場の廊下照明器具のLED化でございま  
す。また、5月の連休中ではございますが、石鳥谷斎場ロビーの天窓が破損する事案  
が発生いたしました。現在、仮に塞いでおりますが、今後、復旧に向けて取り組んで  
まいります。

私からの8年度の主な事業についての説明は以上となりますが、また、次回第2回  
目の地域協議会の開催でございまして、6月10日の午後に予定してございます。通知  
につきましては改めて発出いたしますので、申し訳ございませんが、また会議の方に  
御出席をお願いできればと思います。私からは以上です。

(菅原康之会長)

確認しますけれども、その他に皆様からございませんか。

なければ終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【発言なし】

(菅原康之会長)

それでは事務局にお戻しします。

(高橋石鳥谷地域振興課長)

菅原会長ありがとうございました。

以上で、令和8年度花巻市石鳥谷地域協議会第1回を閉会いたします。